



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年1月30日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL http://www.kansaisuper.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	94,921	1.0	1,423	△3.0	1,687	△3.2	1,131	1.2
2019年3月期第3四半期	93,958	1.1	1,467	12.7	1,742	11.8	1,118	20.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,041百万円 (18.8%) 2019年3月期第3四半期 876百万円 (△12.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	36.00	—
2019年3月期第3四半期	35.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,267	33,981	56.4
2019年3月期	58,788	33,506	57.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 33,981百万円 2019年3月期 33,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2020年3月期	—	8.00	—		
2020年3月期（予想）				8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年3月期期末配当金の内訳

普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭（創業60周年記念配当）

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,470	1.5	2,170	9.2	2,480	6.1	1,500	9.5	47.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	31,940,954株	2019年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	497,702株	2019年3月期	496,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	31,443,603株	2019年3月期3Q	31,444,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移し、個人所得の改善や雇用拡大が続く中、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、海外では米中貿易摩擦問題の動向、中国経済の先行きなどにより景気が下振れするリスクを含んでおり、先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、人件費の上昇や原材料費の高騰および物流コストの増加など厳しい経営環境に加え、昨年10月から消費税率が引上げられたことなど生活防衛意識の更なる高まりから消費者の節約志向が続くとともに、ドラッグストアやコンビニエンスストアなど業態の垣根を越えた顧客獲得競争が激化しております。

このような状況の中、当社グループは3ヵ年中期経営計画の2年目となる2019年度の取組みとして「健康経営」「生産性向上」「教育」を3つの柱に掲げ「営業方針」「人材力方針」「経営管理方針」「成長戦略」「コンプライアンス強化」「全社課題解決施策」を基本方針とし、お客様と従業員の「負」の解消を図る「ソリューション型スーパーマーケット」の実現に向け全社を挙げて引き続き取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の取組みとして「健康経営」では、従業員の生活習慣病予防を目的に、特定保健指導を実施するとともに、手のひらをセンサーに当てるだけで、野菜摂取の充足度を表示できる機器「ベジチェックTM」を従業員の健康増進を目的に本社に設置するなど「身体的な健康」「精神的な健康」「労働環境改善」に区分し、従業員の健康意識を高める取組みを継続しております。

「生産性向上」では、「フィールドワークによる作業効率向上」「ハードの導入による作業合理化」「システム投入による作業種類数の削減」そして「神戸赤松台センター稼働による店舗作業削減」に取り組んでおり、AI機能「フライヤーリフター」など新たなハードを導入することによる作業合理化とともに、自動発注対象商品の品目数拡大のために実験を開始するなど作業種類数の削減に継続して取り組んでおります。セルフ精算レジは16店舗に導入し合計58店舗、キャッシュリンクシステムは19店舗に導入し合計57店舗となりました。当期中に全店導入の完了を予定しております。稼働から1年が経過した「神戸赤松台センター」は、炊飯・米飯および野菜の加工商品の品目数拡大により店舗作業削減を図るとともに、昨年4月から開店前の集中作業軽減を目的に、株式会社阪急フードプロセスに輸入豚肉5品目の加工を委託し、5店舗へ商品供給を開始してございました供給店舗は、33店舗拡大し合計38店舗となりました。

「教育」では、6か月間の実習期間を経て正配属した新入社員を対象に、知識の修得と不安の解消を目的とした「新入社員教育プログラム」に基づき職場への定着化を進めました。また、高齢者やお身体の不自由な方が、安心して楽しくお買物ができる店舗づくりを目指し「ユニバーサルマナー」の研修を実施することで相手のことを思いやり、行動できる人材育成にも取り組んでおります。

昨年12月に創業60周年の節目を迎え、日頃のご愛顧に対し感謝の気持ちをこめて、昨年4月より創業60周年記念企画を実施しております。創業60周年記念企画として、記念商品を49品目販売し、記念セールや記念イベントなどを開催しており、お客様にご好評いただいております。また、当社グループ従業員を対象とした創業60周年記念イベントを開催しました。

店舗の改装では、4月に川西店（兵庫県川西市）、10月に高槻店（大阪府高槻市）をリニューアルオープンするとともに、お客様の買物環境や従業員の職場環境の整備を目的とした小改装を3店舗で実施いたしました。また、お客様のさらなる利便性向上を目指し、4月より阪急阪神グループのSポイントサービスの取扱いを全店舗に導入いたしました。これにより、全店舗で電子マネー（関西スーパーおさいふカード）、クレジットカード（関西スーパーカード）に加えて、共通ポイントカード（Sポイントカード）のサービスご利用が可能となりました。

環境・社会貢献活動では、2007年3月より「ブナを植える会」の活動に賛同し、4月にお客様を招待して六甲山において10回目となる記念植樹活動を実施するとともに、5月および6月には当社新入社員が森林保全活動に参加、協力いたしました。また、マイバッグ利用推進によるレジ袋削減に継続して取り組むとともに、ノントレー包装による省資源への取組みや「フードバンク」を通じて社会福祉施設などに食品寄贈を行っております。日常のお買物の不自由を解消するために、お客様がインターネットで注文した商品を兵庫県内の対象エリアにお届けする「ネット関西スーパーらくらく宅配」を5店舗で実施するとともに、地域との連携として、ご高齢者、お身体の不自由な方などに商品をお届けする移動スーパー「とくし丸」を4店舗で運行開始し、合計12号車となりました。

以上の結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の営業収益は、客数と買上点数が前期を上回ることで949億21百万円（前年同期比1.0%増）となりましたが、営業利益は、人件費や配送コストの上昇、そして多様化するキャッシュレス決済によるクレジットおよびポイント費用の増加などにより、14億23百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は16億87百万円（前年同期比3.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11億31百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は193億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億76百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が11億18百万円、売掛金が5億25百万円増加したことによるものであります。固定資産は409億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億97百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が2億20百万円、繰延税金資産が1億99百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は602億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億78百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は197億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億23百万円増加いたしました。これは主に買掛金が17億32百万円増加したことによるものであります。固定負債は65億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億19百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が7億16百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は262億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は339億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が5億65百万円増加した一方、退職給付に係る調整累計額が45百万円、その他有価証券評価差額金が44百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年10月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,763,970	12,882,062
売掛金	1,411,659	1,937,610
商品	2,796,443	2,951,739
貯蔵品	49,069	39,268
その他	1,312,554	1,499,126
流動資産合計	17,333,697	19,309,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,418,241	9,357,098
土地	20,878,636	20,878,636
その他(純額)	2,406,243	2,535,366
有形固定資産合計	32,703,121	32,771,101
無形固定資産	479,600	454,606
投資その他の資産		
差入保証金	4,680,517	4,575,630
退職給付に係る資産	933,507	948,526
その他	2,658,306	2,207,453
投資その他の資産合計	8,272,331	7,731,610
固定資産合計	41,455,054	40,957,317
資産合計	58,788,752	60,267,124

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,721,129	12,453,280
1年内返済予定の長期借入金	1,872,000	1,502,000
未払法人税等	313,060	154,889
賞与引当金	871,944	436,204
その他	4,240,460	5,195,998
流動負債合計	18,018,593	19,742,372
固定負債		
長期借入金	3,390,000	2,674,000
退職給付に係る負債	838,328	860,858
資産除去債務	424,623	427,450
その他	2,610,339	2,581,378
固定負債合計	7,263,291	6,543,687
負債合計	25,281,885	26,286,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	12,918,148	13,483,442
自己株式	△308,351	△309,179
株主資本合計	33,379,568	33,944,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,498	136,857
退職給付に係る調整累計額	△54,200	△99,828
その他の包括利益累計額合計	127,298	37,029
純資産合計	33,506,866	33,981,064
負債純資産合計	58,788,752	60,267,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	92,455,880	93,434,268
売上原価	70,279,279	71,236,523
売上総利益	22,176,601	22,197,744
営業収入	1,502,327	1,487,446
営業総利益	23,678,929	23,685,190
販売費及び一般管理費	22,211,482	22,261,668
営業利益	1,467,447	1,423,522
営業外収益		
受取利息	4,920	4,763
受取配当金	42,595	23,095
持分法による投資利益	—	87
受取手数料	136,739	136,735
リサイクル材売却益	68,696	72,742
その他	83,813	68,695
営業外収益合計	336,765	306,119
営業外費用		
支払利息	35,411	25,397
持分法による投資損失	6,424	—
株式管理費	9,189	9,909
その他	10,257	7,120
営業外費用合計	61,283	42,427
経常利益	1,742,929	1,687,215
特別利益		
固定資産売却益	9,145	—
投資有価証券売却益	148,558	52,297
受取保険金	—	9,451
特別利益合計	157,704	61,748
特別損失		
固定資産除売却損	31,867	12,736
投資有価証券売却損	132,934	51,671
投資有価証券評価損	14,328	—
災害による損失	75,730	6,676
特別損失合計	254,861	71,083
税金等調整前四半期純利益	1,645,771	1,677,879
法人税、住民税及び事業税	170,865	285,532
法人税等調整額	356,655	260,440
法人税等合計	527,521	545,972
四半期純利益	1,118,250	1,131,907
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,118,250	1,131,907

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,118,250	1,131,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175,092	△42,537
退職給付に係る調整額	△58,655	△45,628
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,858	△2,102
その他の包括利益合計	△241,606	△90,268
四半期包括利益	876,644	1,041,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	876,644	1,041,638
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。